

塩竈市立病院事業会計

I 予算の執行状況

1 収益的収入及び支出

1) 収入

(単位:円、%)

区 分	予算現額	うち法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	決算額	予算額に比べ決算額の増減	執行率
病院事業収益	3,075,746,000	0	3,017,821,524	△ 57,924,476	98.11
医業収益	2,583,747,000	0	2,512,706,299	△ 71,040,701	97.25
医業外収益	222,466,000	0	235,647,000	13,181,000	105.92
特別利益	269,533,000	0	269,468,225	△ 64,775	99.97

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

2) 支出

(単位:円、%)

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用	2,836,983,000	2,780,158,990	0	56,824,010	97.99
医業費用	2,789,888,000	2,744,129,864	0	45,758,136	98.35
医業外費用	34,095,000	34,090,794	0	4,206	99.98
特別損失	13,000,000	1,938,332	0	11,061,668	14.91

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

① 収益的収入

予算現額3,075,746,000円に対し、決算額3,017,821,524円で、執行率98.11%となっている。

② 収益的支出

予算現額 2,836,983,000 円に対し、決算額 2,780,158,990 円で、執行率 97.99%となり、56,824,010 円の不用額が生じ決算されている。

- [主な不用額]
- ・給 与 費 33,594 千円 (退職負担金 11,780 千円、法定福利費 9,740 千円)
 - ・材 料 費 7,104 千円 (薬品費 6,804 千円、診療材料費 165 千円)
 - ・減価償却費 2,543 千円 (器械備品減価償却費 2,090 千円)
 - ・経 費 1,950 千円 (修繕費 930 千円、消耗品費 313 千円)

2 資本的収入及び支出

1) 収入

(単位:円、%)

区 分	予 算 現 額	うち法第26条の繰越額 に係る財源充当額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	執 行 率
資本的収入	373,805,000	30,936,000	256,362,318	△ 117,442,682	68.58
他会計出資金	164,751,000	10,936,000	152,182,068	△12,568,932	92.37
他会計補助金	35,000,000	0	35,000,000	0	100.00
企業債	71,000,000	10,000,000	40,600,000	△30,400,000	57.18
県補助金	103,054,000	10,000,000	18,580,250	△84,473,750	18.02
寄附金	0	0	10,000,000	10,000,000	-

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

2) 支出

(単位:円、%)

区 分	予 算 現 額	うち法第26条の規定 による繰越額	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	執 行 率
資本的支出	572,155,000	30,936,000	444,695,590	115,881,000	11,578,410	77.72
建設改良費	207,317,000	30,936,000	79,857,939	115,881,000	11,578,061	38.51
企業債償還金	329,838,000	0	329,837,651	0	349	99.99
長期借入金 償還金	35,000,000	0	35,000,000	0	0	100.00

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

① 資本的収入

予算現額 373,805,000 円に対し、決算額 256,362,318 円で、執行率 68.58%となっている。

② 資本的支出

予算現額 572,155,000 円に対し、決算額 444,695,590 円で、執行率 77.72%となっているが、地方公営企業法第 26 条の規定による翌年度繰越額 115,881,000 円で、不用額は 11,578,410 円となっている。

建設改良費の内訳は、施設購入費として X 線透視診断装置 (契約額 28,770,000 円) 等の医療機器の購入 36,348,039 円、施設改良費は救急医療の強化に伴う病室等整備工事 (契約額 18,543,000 円)、蓄電池設置工事 (契約額 10,479,000 円) 等の改修工事 43,509,900 円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 188,333,272 円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,802,759 円、当年度分損益勘定留保資金 184,530,513 円をもって補っている。

II 経営成績

平成 21 年度から平成 25 年度までの経営成績は、次表のとおりである。

消費税を除いた本年度の収益的収支は、237,662,534 円の純利益となって決算されている。

なお、以下の計数については、消費税を除いたものである。

1 総収益と総費用

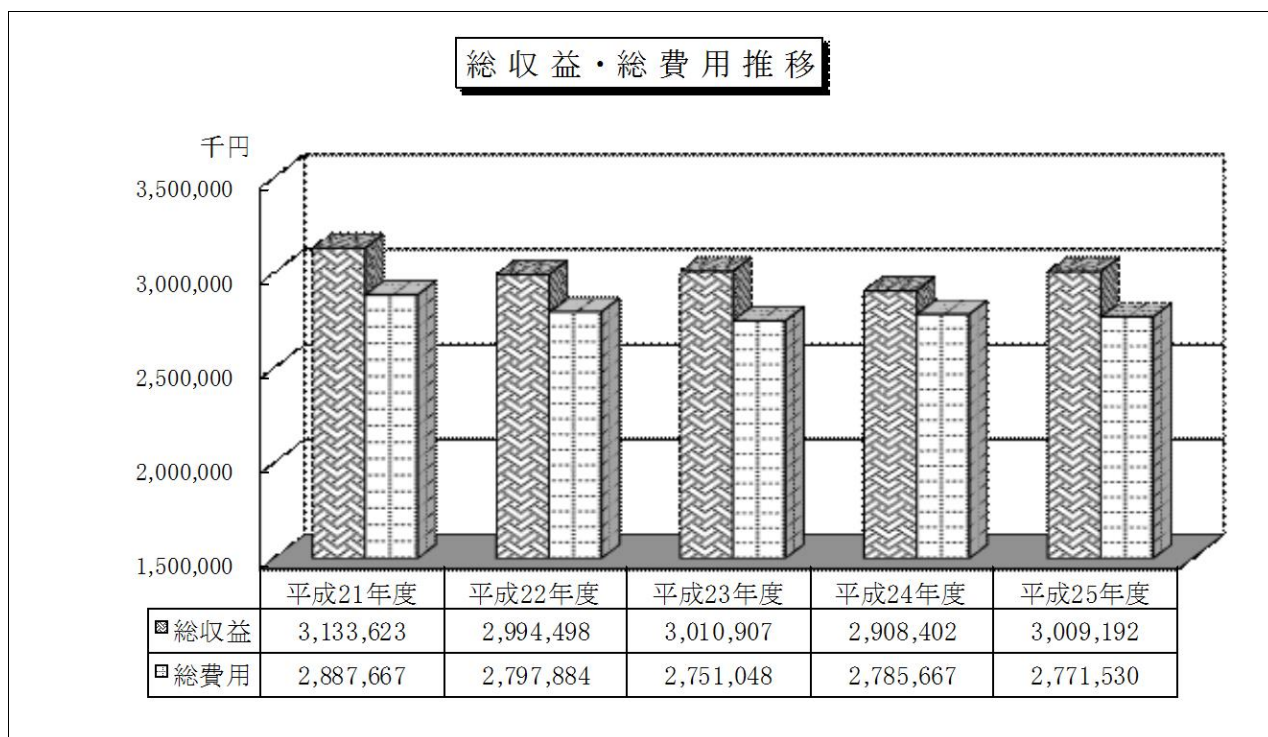
総収益・総費用すう勢比率表

(単位:円、%)

区分 年度	総 収 益		総 費 用		収支差引額 (A) - (B)	収支比率 (A) / (B)
	金 額 (A)	すう勢比率	金 額 (B)	すう勢比率		
平成21年度	3,133,623,331	100.0	2,887,666,516	100.0	245,956,815	108.5
平成22年度	2,994,498,279	95.6	2,797,883,808	96.9	196,614,471	107.0
平成23年度	3,010,906,696	96.1	2,751,048,499	95.3	259,858,197	109.4
平成24年度	2,908,401,998	92.8	2,785,666,518	96.5	122,735,480	104.4
平成25年度	3,009,192,447	96.0	2,771,529,913	96.0	237,662,534	108.6

(注) すう勢比率は 21 年度を基準年度とする。

また、平成 21 年度以降の総収益、総費用の推移を図で表すと以下のとおりである。



本年度の総収支の状況は、平成 21 年度を比率 100 としたすう勢比率でみると、総収益で前年度と比べ 3.2 ポイント上回った 96.0% となり、総費用は 0.5 ポイント下回った 96.0% となっている。

また、収支比率は前年度に比べ 4.2 ポイント上回った 108.6% となり、収支差引では前年度と比較し純利益で 114,927,054 円増の 237,662,534 円となった。

2 収 益

次に収益の内容を前年度と比較してみると次表のとおりである。

収 益 比 較 表

(単位:円、%)

年 度 区 分		平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		対 前 年 度 比 較	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
医 業 収 益	入 院 収 益	1,597,824,712	53.1	1,534,512,068	52.7	63,312,644	4.1
	外 来 収 益	646,143,614	21.4	621,626,265	21.4	24,517,349	3.9
	そ の 他 医 業 収 益	260,984,500	8.7	265,632,017	9.1	△4,647,517	△1.7
	計	2,504,952,826	83.2	2,421,770,350	83.2	83,182,476	3.4
医 業 外 収 益	他 会 計 負 担 金	153,570,432	5.1	104,167,815	3.6	49,402,617	47.4
	他 会 計 補 助 金	42,344,978	1.4	74,734,556	2.6	△32,389,578	△43.3
	患 者 外 給 食 収 益	689,295	0.0	631,604	0.0	57,691	9.1
	そ の 他 医 業 外 収 益	18,093,369	0.6	16,514,744	0.6	1,578,625	9.6
	県 補 助 金	20,077,500	0.7	15,180,000	0.5	4,897,500	32.3
	計	234,775,574	7.8	211,228,719	7.3	23,546,855	11.1
特 別 利 益	過 年 度 損 益 修 正 益	14,130,775	0.5	13,450,735	0.5	680,040	5.1
	他 会 計 補 助 金	255,333,272	8.5	261,952,194	9.0	△6,618,922	△2.5
	計	269,464,047	9.0	275,402,929	9.5	△5,938,882	△2.2
合 計		3,009,192,447	100.0	2,908,401,998	100.0	100,790,449	3.5

収益の内容を前年度と比較してみると、収益合計で100,790,449円(3.5%)の増収となっている。これは、医業外収益の他会計補助金32,389,578円(43.3%)等で減収となったが、入院収益63,312,644円(4.1%)、医業外収益の他会計負担金49,402,617円(47.4%)等が増収となったためである。

入院及び外来患者の年延患者数の推移をみると次表のとおりである。

年 延 患 者 数 の 推 移

(単位:人、%)

区 分	平成25年度	平成24年度	対前年度比率	平成23年度	平成22年度	平成21年度
年延入院患者数	57,727	54,756	105.4	58,339	57,370	56,304
年延外来患者数	66,164	68,732	96.3	74,910	74,574	76,034
合 計	123,891	123,488	100.3	133,249	131,944	132,338

本年度の年延入院患者数は57,727人、一日平均158人で、前年度より延患者数2,971人、一日平均8人の増加。年延外来患者数は66,164人、一日平均271人で前年度より延患者数2,568人、一日平均9人の減少となっている。

次に患者一人当りの診療収入など本市と年鑑指標をみると次表のとおりである。

区 分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較増減	平成24年度年鑑指標
患者一人一日当り診療収入(円)	18,112	17,460	652	21,974
” 入院収入(円)	27,679	28,025	△346	42,399
” 外来収入(円)	9,766	9,044	722	10,724
外来入院患者比率(%)	114.6	125.5	△10.9	181.6
病床利用率(%)	98.2	93.2	5.0	74.8

(注) 年鑑指標とは「地方公営企業年鑑」病院・経営主体・市の平成24年度全国平均値である。

本年度の患者一人一日当りの入院と外来の診療収入を前年度と比較すると、入院収入は27,679円で346円(1.2%)下回ったが、外来収入は9,766円で722円(8.0%)上回っている。また、年鑑指標と比較すると、入院収入で14,720円(34.7%)、外来収入でも958円(8.9%)下回っている。

外来入院患者比率(年延外来患者数÷年延入院患者数)をみると、前年度に比べ10.9ポイント下回っている。これは外来患者の減少によるものである。(審査資料別表2参照)

3 費用

費用比較表

(単位:円、%)

区分 \ 年度	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
医業費用	2,714,559,427	97.9	2,714,626,145	97.4	△66,718	△0.0
医業外費用	55,033,820	2.0	55,062,918	2.0	△29,098	△0.1
特別損失	1,936,666	0.1	15,977,455	0.6	△14,040,789	△87.9
合計	2,771,529,913	100.0	2,785,666,518	100.0	△14,136,605	△0.5

費用を前年度と比較してみると、特別損失で14,040,789円(87.9%)、医業費用で66,718円(0.0%)、医業外費用で29,098円(0.1%)、費用合計で前年度より14,136,605円(0.5%)減少している。(審査資料別表3・4参照)

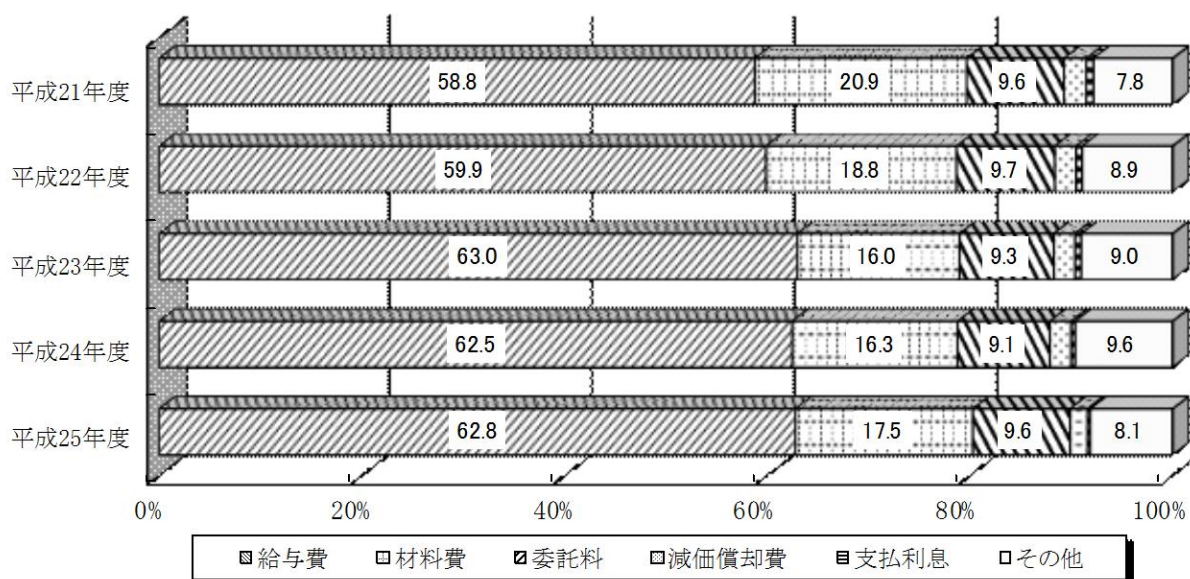
これを構成別で比較してみると次表のとおりである。

費用構成別比較表

(単位:円、%)

区分 \ 年度	平成25年度		平成24年度		対前年度比較		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
給与費	1,741,429,108	62.8	1,739,777,217	62.5	1,651,891	0.1	
材料費	485,574,333	17.5	453,744,712	16.3	31,829,621	7.0	
委託料	266,819,269	9.6	254,928,987	9.1	11,890,282	4.7	
減価償却費	48,462,478	1.7	58,624,622	2.1	△10,162,144	△17.3	
支払利息	7,724,852	0.3	11,294,230	0.4	△3,569,378	△31.6	
その他	賃借料	51,304,729	1.9	68,183,742	2.4	△16,879,013	△24.8
	光熱水費	60,113,542	2.2	55,653,409	2.0	4,460,133	8.0
	修繕費・工事費	9,860,326	0.4	27,485,021	1.0	△17,624,695	△64.1
	その他	100,241,276	3.6	115,974,578	4.2	△15,733,302	△13.6
	計	221,519,873	8.1	267,296,750	9.6	△45,776,877	△17.1
合計	2,771,529,913	100.0	2,785,666,518	100.0	△14,136,605	△0.5	

費用構成別比較表



構成別で前年度より増加した主なものは、材料費で31,829,621円(7.0%)、委託料で11,890,282円(4.7%)等である。一方、減少した主なものは、修繕費・工事費で17,624,695円(64.1%)、賃貸借料で16,879,013円(24.8%)、減価償却費10,162,144円(17.3%)等である。

4 経営状況

病院事業の経済性を示す一つの指標として、総資本利益率を求めれば次表のとおりである。

区分	平成25年度	平成24年度	平成24年度 年鑑指標	算式
総資本利益率 (%)	△1.75	△7.89	1.21	$\frac{\text{当年度経常利益}}{\text{年平均総資本}} \times 100$
総資本回転率 (回)	1.47	1.40	0.59	$\frac{\text{医業収益}}{\text{年平均総資本}}$
医業収益利益率 (%)	△1.19	△5.64	2.04	$\frac{\text{当年度経常利益}}{\text{医業収益}} \times 100$

(注) ・総資本＝負債資本合計

- ・年平均総資本＝(期首総資本＋期末総資本)÷2
- ・総資本利益率(経營業績、収益性を示す、比率の高いほど投下資本が効率的に運用されていることを表す)
- ・総資本回転率(高いほど収益をあげるため総資本を効率的に活用したことを表す)
- ・医業収益利益率(医業収益に占める経常利益の割合を示す)

総資本利益率は、前年度より6.14ポイント改善している。これを総資本回転率と医業収益利益率とに分解してみると、総資本回転率で0.07ポイント、医業収益利益率で4.45ポイント上回ったことに起因している。これは当年度経常損失が前年度より106,825,147円(78.2%)減少したことによるものである。

次に経営状態の良否を判断するため、収支比率を求めれば次表のとおりである。

区 分	平成25年度	平成24年度	平成24年度 年鑑指標	算 式
医業収支比率 (%)	92.28	89.21	95.15	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$
経常収支比率 (%)	98.92	95.06	100.04	$\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$
総収支比率 (%)	108.58	104.41	98.82	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$

(注) 年鑑指標とは「地方公営企業年鑑」病院・経営主体・市の平成24年度全国平均値である。

比率はいずれも高いほど経営状態は良好であることを表す。

総収支比率（総体的経営活動の能率を示す）では、年鑑指標を9.76ポイント上回っている。

これは、医業収支比率（業務活動の能率を示す）で2.87ポイント、経常収支比率（経常経営活動の能率を示す）で1.12ポイント下回っているが、特別利益で改革プランに基く繰入を行っていることによるものである。

Ⅲ 財政状態

平成25年度末の財政状態は、審査資料別表5に示すとおりである。

また、本年度の財務活動を明らかにするため、資金の移動状態を表示する資金運用表を作成すると次表のとおりである。

資 金 運 用 表

(単位:円)

使 途		源 泉	
項 目	金 額	項 目	金 額
建物（改良工事等）取得	33,638,000	自己資本金	152,182,068
器械備品の取得	34,617,180	企業債	40,600,000
建設仮勘定	7,800,000	寄附金	10,000,000
企業債（特例債）償還	198,333,272	県支出金	18,580,250
長期借入金の償還	35,000,000	その他資本剰余金	35,000,000
企業債償還	131,504,379	減価償却費	48,462,478
特別利益 (過年度減価償却費の過誤分)	14,047,203	当年度純利益	237,662,534
正味運転資本の増加	87,547,296		
合 計	542,487,330	合 計	542,487,330

(注) 審査資料別表6参照

本年度の資金の流れは、資金運用表に示すとおり、流入した資金の合計は542,487,330円で、その主なものは自己資本金、当年度純利益等であった。一方、使途は建物(改良工事等)、企業債(特例債)償還等の合計454,940,034円であったことから残金87,547,296円は正味運転資本の増加となって表れている。

IV 病院改革プラン数値目標との比較

塩竈市立病院改革プランの全体計画期間は、平成 21 年度から平成 27 年度までの 7 年間である。

財務に係る数値を中心にした平成 22 年度からの決算数値の推移と数値目標との比較は、次表に示すとおりである。

区 分		年 度				
		25年度	24年度	23年度	22年度	
経常収支比率	(%)	決算数値	98.9	95.1	100.1	97.9
		数値目標	101.5	100.4	100.4	99.2
		差 額	△ 2.6	△ 5.3	△ 0.3	△ 1.3
医業収支比率	(%)	決算数値	92.3	89.2	93.7	93.4
		数値目標	95.5	94.7	94.7	93.7
		差 額	△ 3.2	△ 5.5	△ 1.0	△ 0.3
職員給与費対医療収益比率	(%)	決算数値	51.6	54.4	52.9	51.4
		数値目標	56.3	56.2	56.0	55.8
		差 額	△ 4.7	△ 1.8	△ 3.1	△ 4.4
病床利用率	(%)	決算数値	98.2	93.2	99.0	97.6
		数値目標	97.3	97.3	97.3	97.3
		差 額	0.9	△ 4.1	1.7	0.3
1日平均入院患者数	(人)	決算数値	158.2	150.0	159.4	157.2
		数値目標	156.7	156.7	156.7	156.7
		差 額	1.5	△ 6.7	2.7	0.5
1日平均外来患者数	(人)	決算数値	271.2	280.5	307.0	306.9
		数値目標	307.8	307.8	307.8	307.8
		差 額	△ 36.6	△ 27.3	△ 0.8	△ 0.9
入院患者1人1日あたり診療単価	(円)	決算数値	27,679	28,025	27,648	27,514
		数値目標	27,500	27,500	27,500	27,500
		差 額	179	525	148	14
外来患者1人1日あたり診療単価	(円)	決算数値	9,766	9,044	8,315	9,302
		数値目標	9,156	9,156	9,156	9,156
		差 額	610	△ 112	△ 841	146
救急患者数	(件)	決算数値	1,109	1,192	1,354	1,160
		数値目標	1,000	1,000	1,000	900
		差 額	109	192	354	260
経常損益	(千円)	決算数値	△ 29,864	△ 136,690	3,171	△ 58,751
		数値目標	39,217	9,742	9,482	△ 22,704
		差 額	△ 69,081	△ 146,432	△ 6,311	△ 36,047
純利益	(千円)	決算数値	237,663	122,735	259,858	196,614
		数値目標	294,656	268,230	263,141	226,245
		差 額	△ 56,993	△ 145,495	△ 3,283	△ 29,631
一般会計からの繰入金	(円)	決算数値	734,031	740,180	787,243	722,182
		数値目標	735,934	735,934	735,934	735,934
		差 額	△ 1,903	4,246	51,309	△ 13,752
不良債務比率	(%)	決算数値	0.0	3.6	3.5	8.1
		数値目標	△ 7.4	△ 1.9	3.1	8.1
		差 額	7.4	5.5	0.4	0.0

塩竈市立病院改革プランの数値目標を決算数値と比較すると、1日平均外来患者数、経常収支比率、医業収支比率等で目標値を下回ったが、職員給与費対医療収益比率や入院患者及び外来患者1人1日あたり診療単価、救急患者数等は目標値を達成している。

V む す び

市立病院事業会計決算の概要は以上のとおりである。

本年度の患者数を前年度と比較すると、入院患者数は2,971人(5.4%)増の57,727人、外来患者数は2,568人(3.7%)減の66,164人となった。また、病床利用率は前年度の93.2%から5.0ポイント増の98.2%となっている。

収益的収支を前年度と比較すると、総収入は100,790,449円(3.5%)増の3,009,192,447円、総支出では14,136,605円(0.5%)減の2,771,529,913円で収支差引237,662,534円の純利益で決算され、前年度より純利益で114,927,054円(93.6%)増となっている。

総収入の増の内訳は、医業外収益の他会計補助金32,389,578円(43.3%)、特別利益の他会計補助金6,618,922円(2.5%)などで減となったが、医業収益の入院収益63,312,644円(4.1%)、医業外収益の他会計負担金49,402,617円(47.4%)などで増になったことによるものである。

総支出の減の内訳は、医業費用の材料費31,829,621円(7.0%)、医業外費用の雑損失3,387,819円(7.9%)などで増となったが、医業費用の資産減耗費14,891,736円(95.4%)、減価償却費10,162,144円(17.3%)、特別損失の過年度損益修正損14,040,789円(87.9%)などで減になったことによるものである。

資本的収支を前年度と比較すると、総収入では65,570,133円(34.4%)増の256,362,318円、総支出でも、56,951,211円(14.7%)増の444,695,590円となっており、収支差引の不足額188,333,272円は当年度分損益勘定留保資金などで補てんし決算されている。総収入増の主な内訳は、企業債、県補助金などによるものであり、総支出増の主な内訳は、建設改良費などによるものである。

平成25年度の決算は、長年にわたり抱えてきた不良債務を解消できたことは特筆すべきことで、このための市及び病院当局の努力を評価したい。この決算を病院改革プランの数値目標と比較すると病床利用率など7項目で達成しているものの未達成の項目も多いこと、前年の決算が急に落ち込んだことを考えるとまだ安定した経営状況にあるとは言えず、改革プランの目標達成に向けたさらなる努力を願いたい。